



学校便り

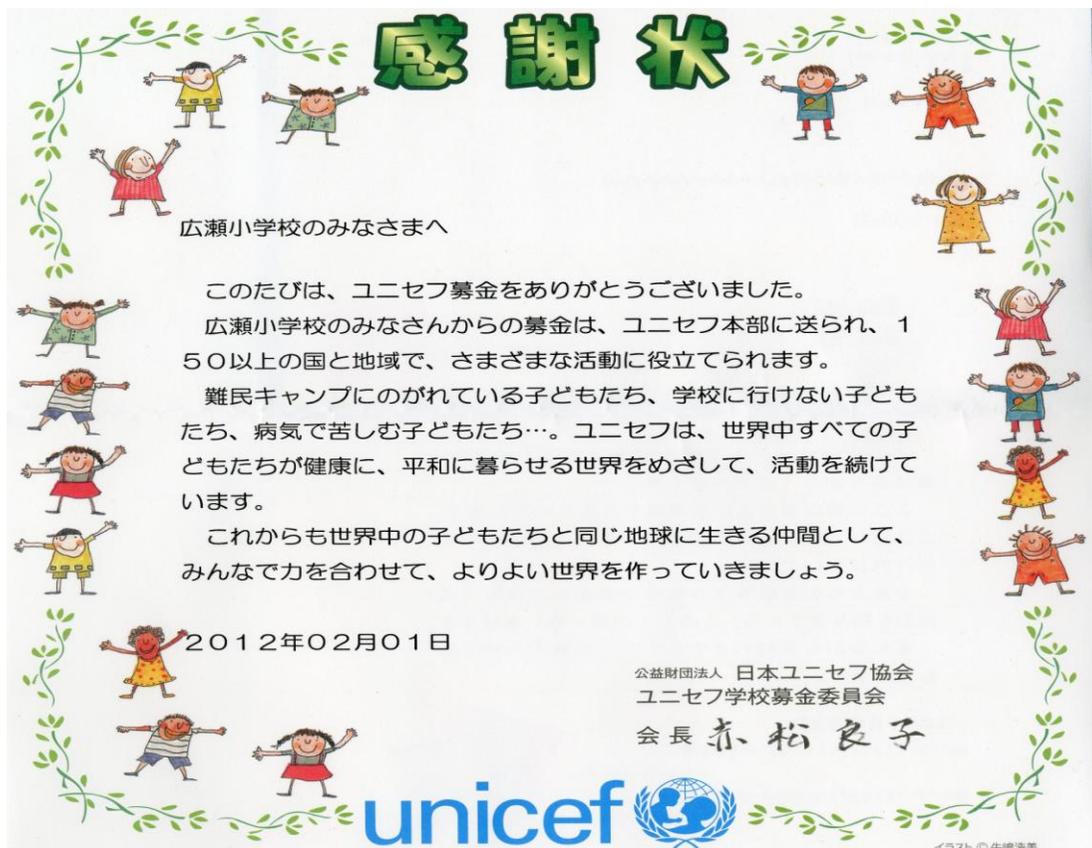
平成24年 2月17日
広島市立広瀬小学校
校長 中田 浩志

ユニセフ募金

広瀬小学校では今年も計画委員会を中心に、ユニセフ募金に取り組みました。ユニセフは、世界の子どもたちの命と健康を守るために活動している国連機関です。すべての子どもが安全な環境の中で、健やかに成長できるように、150以上の国と地域で、保健、栄養、水と衛生、教育などの支援活動を行っています。

今、世界中を見渡してみても、どの国の子どもたちも幸せに暮らしているでしょうか。劣悪な環境の中で、今も命を落としている子どもたちも少なくありません。ほんの少しでもできることをクラスごとに考えてみました。

広瀬小学校では1月中旬に、朝の会で計画委員会が各クラスで説明し、1月25日・26日に、募金活動を行いました。二日間で、30,045円もの募金が集まりました。ユニセフ協会から感謝状が届きましたので紹介します。



第3回学校協力者会議の報告

2月2日に第3回学校協力者会議を行いました。学校の方から、今年度の学校の取り組みについて教職員・児童・保護者のみなさまからのアンケート結果をもとに説明させていただき、委員のみなさまから下記のご意見をいただきました。

記

【委員のみなさまより】

・広瀬小学校の子どもたちは、よくなってきていると思います。それは、先生方の努力の結果であり、地域が見守りをしっかりしているからでしょう。学校が目標を作り（PLAN）それに向かっていっている姿勢が良いと思います。余談ですが、毎日家に寄って帰る1年生の子どもがいます。いろいろな話をして帰って行きますが、この年末、12月の学校最後の日、その1年生が寄って帰ったとき、お礼で「ありがとう。」と言ってくれました。とても温かい気持ちになりました。学校、保護者、地域がうまくまわっているなど実感しています。

・残食率が4月から市平均よりも広瀬小学校の方が低いのには驚きました。そのための取り組みが結果となって表れているので良いと思います。

・5月の体力テストでよい結果でなかった種目について、体育の授業の中に取り入れ、良い結果に結びつけているのはすばらしいと思います。子どもたちの中にも意識付けができていていると思います。

・読み聞かせをしています、どのクラスも集中して聞いてくれています。先生方の指導が行き届いていると感じます。

・体力テストをみると、学年が上がるにつれて平均以上の種目が増えています。縄跳びも年間通して継続的に行っておられます。先日、子ども会冬季体育大会で（種目は綱引き、長縄跳び）綱引き・優勝、総合・3位という成績を収めることができました。日頃、地道に体力作りを行っていただいたおかげと思います。

・日頃、子どもたちがお世話になっております。また、逃走事件ではお世話になりありがとうございます。この事件がきっかけで、連携、絆ができたのではないかと思います。今日、この会議で先生方の報告の内容を聞きながら、心が温かくなりました。今後ともよろしく願います。

・努力をしている先生方に敬意を表します。地域に居住するものは、その地域にある学校の評判が気になるものです。学力をつけることが学校の使命ですが、「おはようございます」「ありがとう」など心の教育も大事なものの一つです。どうか、将来日本を背負ってたってくれるような子どもたちを育ててください。そのためには、先生方には今まで以上に頑張ってもらいたいと思います。地域もできるだけのことはします。